

令和3年度公益財団法人神奈川県スポーツ協会事業計画

【基本方針】

コロナ禍における「新しい生活様式」を踏まえ感染拡大予防ガイドラインを遵守して、スポーツを通じ活気にあふれ、豊かな人間形成ができる社会、だれでも、どこでも、いつまでも、性別や年齢、障害の有無にかかわらず、子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しめる社会の実現を目指します。

そのため、加盟団体はもとより県内スポーツ団体との緊密な連携のもと、スポーツを振興し、県民の体力向上と健康で明るく豊かな生活及び活力ある社会の実現に寄与するための諸事業を積極的に展開していきます。

また、1年間延期されました「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて、加盟団体等と連携し、神奈川から盛り上げていく取り組みを推進すると共に、大会終了後のレガシーを引き継いでいきます。

【重点施策】

基本方針に基づき、加盟団体、県スポーツ局、県教育委員会及び関係機関と協働し、次の施策を重点的に進めます。

1 世界に羽ばたく選手を神奈川から

(1) かながわ・ゆめ国体を契機に培ってきた競技力向上対策システムの継承と、加盟競技団体や医科学支援スタッフ等が連携し、選手の安全・安心を確保した育成・強化を推進し、第76回国民体育大会での上位入賞を目指して神奈川県選手団を編成し派遣します。

- ・選手強化事業
- ・スポーツ医科学振興事業
- ・国体派遣事業
- ・国体コーチ等派遣・研修事業 等

(2) 将来性のあるジュニア選手を発掘し、その個人に応じた一貫指導を継続的に実施し、ジュニア選手の発掘、育成の充実を図ります。

- ・ジュニア選手強化事業

2 スポーツを通じた青少年の健全育成

スポーツを通じて、子どもたちが仲間や指導者と交流することによりコミュニケーション能力を育成し、自己責任やフェアプレーの精神を身につけ、他人に対する思いやりや多様な価値観を認めあう豊かな心を育み、国際的な友好と親善に貢献できる人間形成を目指します。

- ・スポーツ少年団の運営
- ・指導者、リーダーの養成・育成事業 等

3 だれでも楽しめるスポーツの推進

県をはじめとし、関係機関と連携してだれでも、どこでも、いつまでもという「Sports For ALL」を推進します。

- ・スポーツ教室の開催
- ・総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- ・高齢者、障がい者の競技会等の支援
- ・国際スポーツ交流の促進
- ・特定非営利活動法人神奈川県レクリエーション協会や一般社団法人神奈川県障がい者スポーツ協会等との連携 等

4 スポーツと環境

スポーツと環境かながわ宣言に基づく行動と実践を推進し、美しく豊かな自然との共存を目指して、神奈川の素晴らしい環境を次の世代に残すため、R e f u s e、R e d u c e、R e u s e、R e c y c l eを念頭に環境に優しいスポーツ活動を推進します。

- ・「スポーツと環境」の普及啓発について他団体との連携 等

5 もうひとつの社会貢献活動

スポーツのさまざまな場面を活用した社会貢献活動への取り組みを進めます。

- ・「いじめ防止」の意識づくりを推進するため「いじめ防止啓発ポスター」を作成します。
- ・国際大会や国民体育大会等での活躍が見込まれる県内アスリートの県内就職への支援をします。

6 スポーツ振興を図るための諸事業

- (1) スポーツ団体ガバナンスコードを遵守し、公益財団法人として適正で健全な業務運営に努めます。
- (2) 県立スポーツ会館の指定管理者として適正で健全な管理運営をします。
- (3) 県立スポーツセンターの運営支援業務を行います。
- (4) スポーツ安全協会の業務を受託し、スポーツ安全保険業務を通じてスポーツ活動及び社会教育活動の普及奨励を行います。
- (5) 機関誌「スポーツ神奈川」等の発行やオフィシャルウェブサイトなどを通じ、本会の施策と事業を総合的に広報し啓発します。
- (6) ゴルファー募金の募金活動を推進し、募金を青少年スポーツ振興、社会貢献活動事業などに有効活用します。

7 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組み

標記大会は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により1年間延期されましたが、県が策定した「オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン 2020」に掲げられている「神奈川からオリンピック・パラリンピックを盛り上げていく取組み」に沿って、一人でも多くの「神奈川育ちのオリンピック」の出場を目指すとともに、スポーツ団体の組織強化やボランティアの育成等に取組みます。